

小節	練習曲と留意点	備考
<b>かきつばた</b>		
全般	“なきあかすー”で上がってから下がる音は下がり過ぎずに	全
<b>雨後</b>		
	通して歌った	
<b>アカシヤの径</b>		
59～62 小節	“タンタタンタツ”はもう少し出して	T1
<b>夜の霰</b>		
14～18 小節	①15 小節の“さあーっ”で“さ”の入りが遅れずに ②16 小節の“さあーっ”でラドミをシッカリ上がって	Br・Bs T2
23～24 小節	“…おそうた”のタタタンタンを歯切れよく急いで	全
32～37 小節	①“タンタタンタンタン”のリズムはシッカリ跳ねて遅れずに ②37 小節の“あーられー”も跳ねて (44～49 小節も同じ)	T1・T2
38～40 小節	少し遅れ気味。リズムに乗って	T1・Bs
<b>雨の日に見る</b>		
1～4 小節	“ほのぐらい”“ザボン”“かがやく”の頭のことばをシッカリと	全
22 小節	“…つっているー”で“るー”の和音（レファラ）を保って	全
26 小節	“こごえているー”で“るー”の和音（シレファラ）を保って	全
35～36 小節	“かがやくーのーをー”で“をー”の和音（ドミソド）を保って	全
<b>無縁坂</b>		
5～6 小節	m f → p p への変化を意識して	T1・T2
15～18 小節	m p → p への変化を意識して	T2
23～26 小節	m f → p への変化を意識してその後 poco a poco cresc. f まで	T1・Bs
31～33 小節	30 小節の f から p へ落とす → p p 位のつもりで。ただしことばはハッキリと（特に S 子音を立て T）	全
<b>遠くへ行きたい</b>		
全般	①ソ→ミへの変化を下がり過ぎないように（16、24、42 小節） ②“とーくへ”で“へ”は 4 パートが同じ音なので各パートとも少し引いて（全体が大きくなりがち）また“くへ”はつないで	T1・T2
46～47 小節	ド#は音量を少し控えて	T1
<b>琵琶湖周航の歌</b>		
全般	歌詞をていねいに発音して	全
34 小節	“いーに”で 8 分音符の長さをシッカリ保って	T2
35～36 全般	“なーくとかやー”リズムックではなくつないで	全
<b>時代</b>		
2 小節	“かなーしくてー”は同じ音をシッカリ保って	Br
5 小節	タテの線を合わせて	全
37～38 小節	上がる音の音程にシッカリ上がって	T1
<b>あの素晴らしい愛をもう一度</b>		
全般	16 分音符のことばをハッキリと（19～21、46～49 小節）	6/25 市民芸術祭 全
<b>夏の思い出</b>		
	通して歌った	

\*歌い方は歌い込みとともに改善されるものなので最新のテキストを優先してください。

T1：市村